

国際シンポジウム「いま改めて考えよう地層処分」
～世界の取り組みから学ぶ～

このたび経済産業省と原子力発電環境整備機構（NUMO）は、3月28日に以下のとおり、国際シンポジウム「いま改めて考えよう地層処分～世界の取り組みから学ぶ～」を開催します。

私ども電気事業者は、高レベル放射性廃棄物の発生者としての基本的な責任主体として、地層処分事業へのご理解を深めていただくために、本シンポジウムに積極的に協力してまいります。

【開催趣旨】

原子力発電に伴い生じる高レベル放射性廃棄物は、これまでの原子力利用の結果、すでに相当量存在しており、その処分は避けては通れない課題です。原子力を利用してきた諸外国も同じ課題を抱えており、現在、どの国も「地層処分」という方法を採用し、処分場所の選定等の取り組みを進めています。

本シンポジウムでは、国民や地域の方々のご理解をどのように得ていくのか、処分事業と地域の共生はどうあるべきか等について、2009年に処分場建設予定地が選定されたスウェーデンの関係者からの話も踏まえながら、一緒に考えていきたいと思えます。

1. 日 時：2016年3月28日（月） 13:30～16:30
2. 会 場：丸の内ビルディング7階 丸ビルホール（東京都千代田区丸の内2-4-1）
3. 参加費：無料
4. プログラム（概要）

○開会挨拶

○基調講演

「地層処分に向けた世界の取組と日本の針路」

増田 寛也 総合資源エネルギー調査会放射性廃棄物WG委員長

「スウェーデンの実例から学ぶ」

サイーダ・エングストレム スウェーデン核燃料・廃棄物管理会社（SKB社）副社長

ヤーコブ・スパンゲンベリ スウェーデン・エストハマル市長

○パネルディスカッション

本シンポジウムの詳細や参加申し込みにつきましては、以下のホームページをご覧ください。

<お申込み専用WEBサイト>

http://www.numo.or.jp/pr-info/pr/event/new_symposium16022909.html

以 上